

生活の一コマ、紹介します！

《機械科1年 飯塚徳寿（上尾市立原市中学校出身）》

僕は、就職した時に有利な資格を取得したくて大宮工業高校に入学しました。1年生のうちから挑戦できるものもあり、授業で練習したり夏休みに講習を受けたりして頑張っています。

今、いちばん楽しいのは実習です。初めて触れる機械は扱うのが難しく、間違った使い方をすると危険なのでとても怖いです。けれど、初めて使う材料で時間をかけてつくったものが完成した時は、とても嬉しいです。いろいろな方法でものをつくる体験を中学生の皆さんにもして欲しいです。



《建築科R2年度卒業 皆川美空（毛呂山市立毛呂山中学校出身）》

高3の秋、私はほとんどの同級生が進路を決めている時にやりたいことが見つからず悩んでいました。そんな時、担任の先生が「施工管理なんて向いてるんじゃないか」と言ってくれました。最初は、自分には無理だと思っていました。しかし、会社見学での雰囲気や働いている方々の人柄、生き生きとした格好よさに惹かれて志望を決めました。今、私が楽しく仕事をできているのは、私のことを理解し、寄り添ってくれた先生方が居てくれたからだと思います。



知らないともったいない！～宮工ワンポイント～

「大宮工業高校は就職率が高くて聞きました！大学生でも入社が難しい企業の求人もあるんですね？」

宮工のこと、よく知っていますね！おっしゃるとおり、本校は毎年、魅力的な求人を多くいただいています。底力のある企業とのつながりは宮工がつくってきた実績によるものです。

「すごい！！じゃあ、宮工に入ったら将来安心だね！」

落ち着いて！もちろん、後悔しない選択をするサポートは万全。ただし、いちばん必要なのは“どうしたいか”を考え続ける本人の努力です。

「高校入試と同じってことかあ。」

そういうこと！



鉄道関係の仕事につきたい！

→ 中学校の頃から将来を考え、大宮工業に。

企業を1つに絞るまで

1. 自分が何をしたいのか

→ この先何十年経っていけるか

2. 10個程企業をピックアップする

→ 自分が知っている企業か、大手か

3. 評定・仕事内容・休みなど

総合的に考えて比較する

つまがいてしまったこと

① 大手の企業は評定4.5以上ないと、厳しいことが多く、諦めることになる。

② 志望理由、履歴書、面接の練習など、まとめる作業

宮工タイムズ

SAITAMA PREFECTURAL OMIYA-TECHNICAL HIGH SCHOOL TIMES



埼玉県立大宮工業高等学校
〒331-0802
さいたま市北区本郷町1970
TEL 048-651-0445
FAX 048-660-1904
https://omiya-th.spec.ed.jp

夏休み中の宮工は、いつにも増して賑やかでした。グラウンドや体育館では部活動に励む生徒たちの声が響き、特別教室には資格取得の補習に参加する生徒の姿が。工業棟の木工室では、建築科の先生方が新しい工作機械を動かして実験をしていました。行事がいっぱいの二学期はいつも以上に活気あふれる宮工に出会えますよ！

未来をつかめ！～3年生の挑戦～

1、2年生が高校生活を充実させている傍らで、3年生は次のステージを決める準備を進めています。

就職を希望する生徒たちは、企業見学を終えると履歴書の作成に取り掛かります。200字に満たない文章で動機や意気込みをコンパクトにまとめるのは至難の業！担任の先生に何度も添削していただきながら、慎重に言葉を選んで丁寧に仕上げます。



公務員試験を受ける者にとって、夏休みは追い込みの時期。ある生徒は「休日は地元の図書館で勉強しているんです」と話してくれました。大学受験を考えている生徒たちも作文の練習や出願期間の確認に余念がありません。

進路活動は夢を叶えるための孤独な闘い。頑張っている友達を励みにして、それぞれの試験に臨みます。

愛される宮工～時間を越えた贈り物～

宮工には、「部活に顔を出しにきました」「近くを通ったから寄りました」という卒業生の訪問や、今の様子を知りたいという電話が頻繁にあります。行事以外の日でも母校を気にしてくれる卒業生がたくさんいるというのは、大宮工業高校がここで学んだ方々にとって大切な思い出の場所である証。学校にとってこんなに素敵なことはありません。

夏休みのある日、ご家族が宮工の卒業生という方からご連絡をいただいて寄贈されたのは、第40回選抜高校野球大会の優勝を記念したサイン色紙。当時の選手と監督、部長、マネージャーの名前が記された、とても貴重な宝物です。校長先生は歴史が色褪せないようにと丁寧に額に入れて飾っていらっしゃいました。

事務室前にあるガラス扉の棚には、野球部、柔道部、音楽部といった部活動が上位入賞を果たして受け取った盾の他、検定の努力を認められたメダルなども飾ってあります。刻まれた文字からは昭和から平成、令和への時間の流れとともに、いつの時代もトップであり続けようとする宮工生のプライドが伝わってきます。

中学生の皆さん、本校へお越しの際は、ぜひ足を止めて眺めてみてくださいね！



宮工で何する？



「工業高校といえば実習でしょ？」と思われがちですが、それだけではありません。知識あつての技術、技術あつての知識です。興味をもって勉強すると、いろんなチャンスが広がりますよ！

宮工で考える未来～社会生活とつながる学び～

進歩し続ける文化や社会とその土台をつくってきた工業高校は、いろいろな場面で深いつながりがあります。電子機械科の阿部佑紀先生が、授業の中身をお話ししてくれました。

「先生の取り組みが新聞に取り上げられたそうですね！
どんなことをされたんですか？」

「インターネット上で暑さ指数を測定することができる測定装置を生徒と一緒に作りました！ちなみに、暑さ指数とは、**熱中症になりやすいかどうかを判断するための目安になる数値**です。」

「暑さ指数という言葉、初めて聞きました。気温が高くなると熱中症のニュースをよく聞くから、自分たちで危険な数値が分かるのって良いですね！どうして、その分野に注目したんですか？」

「最近の夏は40℃近い気温が当たり前になってきていますよね？その暑さの原因ってなんだろうと疑問に思ったので調査することにしました。インターネット上で数値が測定できればSNSなどを活用して埼玉県の暑さ指数をリアルタイムで情報発信できるといったんです。」

「工業高校の授業とはどんなふうにつながってるんですか？」

「実はこの実験は、3年生の課題研究という授業の一環で取り組んでいるものです。この授業では**社会問題や環境問題といった様々な課題に対して、工業高校としてアプローチできることを1年間かけて学ば**んですよ！」

「ただ、組み立てたり動かしたりするだけじゃないんだ…。先生が考える“工業高校で学ぶ面白さ”ってどんなことですか？」

「やっぱり**“ものづくり”**ができることです。自分が作りたいものを形にすることができるし、今回のように**世の中の役に立つものを創造して作る**こともできます。社会はたくさんのもので溢れています。その一つ一つが“ものづくり”なのです。**ものづくりをするためにはたくさんの知識や技術を身に付けなければなりません**。難しいこともあるけれど、ものが完成した時にその面白さに気づけると思います。ぜひ、宮工でいろいろな“ものづくり”にチャレンジしてください！」

バランス&チャンス～実習の経験で社会のリーダーへ！～

就職に強い宮工のもうひとつの魅力は、幅広い学科の**四年制大学の指定校推薦枠がある**こと。その中には普通科高校に通う高校生が一般受験を考えるようなところもあります。

専門高校で学ぶ普通科科目の学習量は少ないです。3年間で積み上げた学習の貯金を活かし、**進学後の高度な学習についていくためのきっかけづくり**として、本校ではカレッジコースを設定しています。



《英語》

英語学習の最大の目的は、習った文法や語彙を用いて自分の意見や思いを自由に表現できるようになることです。

今日、大学では文系・理系を問わず英語で発表する機会が増えています。カレッジの授業ではSDGs（環境・貧困・紛争・男女平等）などのタイムリーな話題や**工業ならではのAI、テクノロジーに関する話題**を扱い、**自分の意見を述べたり発表したりする機会**を多く設けます。また、様々な状況に英語で簡潔に対応できるようにペアワークやグループワークを行うトレーニングしていきます。

《数学》

カレッジコースでは数学Ⅲを学習します。**この科目を履修できる工業高校は珍しい**です。内容は数学Ⅱで学ぶ「微分」「積分」をさらに深めたものです。これらは理科の物理学に適用され、ものづくりの現場だけでなく大学の工業の学びにもつながっていきます。

社会では物事を論理的に正しく理解し説明していく能力が求められます。カレッジコースの数学では、**ただ答えを求めめるだけではなく、その途中過程の記述方法なども学習し**、そのような力（論理的思考力）も養っていきます。



《理科》

高校の理科は、物理・化学・生物・地学に分かれます。カレッジコースの理科では物理を学びます。

物理とは身の回りの現象について学ぶ科目で、中学校で学ぶ科学の光や電気などの分野にあたります。その中でカレッジコースでは力やエネルギーを中心に学習します。この分野を「力学」と言いますが、**力学は工業のどの分野においても関連性が強く**、たとえば力の加わり方や物体の動きを知ることは、**機械そのものの動き、建物の構造のどこに負荷がかかるか、ロボットのバランスをどのようにとるか**などの理解につながります。力学を学習することで、工業の専門的な内容をより深く知ることができます。

